

**第27回 貧困の連鎖対策研究会 兼
NPO法人「子どもへの学習支援基金」第13回勉強会・拡大理事会
議事録**

日時:2020年10月30日(金)午後6時～8時

場所:Zoom

**第一部 藤野直子 様(名古屋名東ロータリークラブ, 有限会社ジャスティス代表取締役,
地域社会共同隊RCC委員会委員長)講演**

「子ども食堂を支えるRCCについて～子どもの貧困・教育格差をなくすために～」

※ 資料あり

貧困には、「絶対的貧困」と「相対的貧困」があります。

「絶対的貧困」とは、国連の定義で1. 9ドル未満/日で生活している人たちを指し、世界中のロータリーが支援活動を行っています。

本日は「絶対的貧困」ではなく、「**相対的貧困**」についてお話しをします。

先進国においては「相対的貧困」という基準を使って貧困率を測っています。その国の文化水準・生活水準と比較して、困窮した状態にあるか否かということです。

経済的な問題で高校進学をあきらめなければならないとか、学校の部活動に必要な道具が買えない、家族のお誕生日であってもお金がないので外食に行けないといった、ごくごく普通のことのできない世帯が「相対的貧困」になります。この話をすると「自分たちの若い頃は皆貧しかった」とおっしゃるご年配の方がいるのですが、それは「絶対的貧困」であって、「相対的貧困」とは異なります。

相対的貧困率の算出方法ですが、世帯の可処分所得（収入から税金・社会保険料等を除いた、いわゆる手取り収入）を世帯人員の平方根で割り、その世帯の等価可処分所得を出します。国内の世帯の等価可処分所得を低い順から並べて、中央値（平均値ではない）を特定し、その中央値の半分の額が貧困ラインになります。貧困ラインに満たない世帯の割合が相対的貧困率であり、貧困ラインに満たない世帯で暮らす17歳未満の子どもを子どもの貧困率という形で表します。

厚労省では、毎年、国民生活基礎調査を行っており、3年ごとに大規模な調査を行っているのですが、昨年（2019年）大規模調査があり、その結果が今年（2020年）7月に発表になりました。それによると貧困ラインは127万円でした。相対的貧困率は15.4%。全国の子どもの貧困率は13.5%、7人に1人の子どもが貧困状態にあるということです。

数字で具体的に表れておりますが、ひとり親世帯の子どもの貧困率は48.1%にも上ります。3年前は50.8%でしたので、若干下がってはいるものの、ひとり親世帯の2人に1人は貧困ライン以下の世帯ということです。

日本には142万世帯のひとり親世帯があり、そのうち父子世帯が約18万世帯、母子世帯は約123万世帯になります。母子世帯の82%は就業していますが、正規雇用は44%と言われていて、母子世帯の半分以上は非正規雇用（派遣社員・パート等）で子育てしているということです。

更に厚労省の生活意識別調査を見ると、「苦しい」「やや苦しい」という回答が、全世帯で54.4%もいらっしゃいました。子どもがいる世帯では60.4%、母子世帯では86.7%にもなります。地元の愛知でも似たような調査をしているのですが、収入は増えないのに子どもの年齢が上がるほど学費等の支出が増えるため、家計が苦しいと答える世帯が多いです。

次に子どもの貧困率を国際比較でみてみますと、2014年OECDの調査によれば、日本は上から10番目に高くなっています。ひとり親世帯の子どもの貧困率になると、世界一高い。反対に社会保障が充実している北欧は、子どもの貧困率が低くなっています。

子どもが貧困によってどうなるかですが、不十分な衣食住の家庭に虐待やネグレクトが多いと言われており、そういった環境の子どもは精神的に不安定になりやすく、大人に対する不信感、そして自己否定をするようになります。加えて文化的享受の欠如によって低学力になり、不登校や中退に繋がりがやすく、大人になっても安定した収入を得ることは難しくなります。さらに残念なことに、この貧困は世代間で連鎖しているため、親が経済的に苦しいことで教育格差が生まれ、また次世代の子どもにも同じことが繰り返されることになります。経済的な貧困によって部活や進学を諦めたり、地域活動に参加できないことで、人と信頼関係を築けずに経験や人間関係が乏しくなります。これは非認知能力の欠如にも非常に関係しています。

貧困は見ようとしなければ見えません。中でも特に黄色信号（児童養護施設に入るまでではない、貧困ラインを下回る世帯）の子どもへの社会的養護が必要です。貧困家庭の親は、自身も同じような家庭で育ってきた人が多いので、栄養に関する知識が足りず、健康状態が悪い人が多いです。

そういった子どもを1人も取りこぼさずに救うことが大切で、子ども食堂の数は2019年に全国で3700か所になりました。貧困家庭や孤食の子どもだけではなく、親子連れや高齢者も利用しており、子ども食堂の運営者は安心できる居場所作りを心がけています。

子ども食堂の役割というのは、栄養を確保することの他に、一緒に調理することで子どもに食生活の基本的スキル（調理方法や栄養知識）を身につけてもらうことです。

愛知県では2015年7月に初めての子ども食堂ができ、今は180か所が開設、ほぼボランティアで行っています。子ども食堂は開設のためのハードルは低いのですが、継続するのが非常に大変で、場所、資金、ボランティアや食材の確保、衛生管理、アレルギー対策などの多くの課題を抱えています。本当に支援を必要とする子どもや保護者に情報が届いているのか？そういった方は来ているのか？が大きな悩みですが、そういった様々な課題を解決するために後方支援をしようということで、名古屋名東ロータリークラブでは2017年8月に地域社会共同隊（Rotary Community Corpses, 通称「RCC」）を結成しました。ロータリークラブと協力して活動する、ロータリアン以外で構成されるグループを「RCC」と呼んでいます。現在、私どものRCCでは、愛知県内の子ども食堂や学習支援団体、ひとり親支援団体、生活困窮者支援団体など、今日現在153団体が隊員として毎日活動をしてくださっています。

RCC結成当時は「あいち子ども食堂ネットワーク」だけを後方支援していましたが、

活動していくうちに、このネットワークに加わらない子ども食堂があること、また、学習支援団体は生活保護家庭の子どもを対象としているため、学習支援団体やひとり親支援団体の方が、本当に支援を必要としている人たちの情報を持っているということがわかったため、拡大していきました。コロナ禍では行政との連携も非常に重要で、行政にも隊員登録していただき情報共有しています。

RCCのメリットは継続した事業ができることで、(ロータリーの) 地区便覧に載ることで地区を越えた(ロータリー) クラブとの繋がりが生まれ、支援の輪が拡大しています。そして、各地域で意義深い支援活動を毎日していただいています。

新型コロナ前は「あいち子ども食堂ネットワーク」で学習交流会や地域交流会を開いたり、子ども食堂の広報活動や行政機関との連携、食材や寄付の情報共有を行っていましたが、新型コロナによって活動内容が大きく変化しました。こういうときにこそ、子ども食堂が一番必要とされるのですが、厚労省から子ども食堂の開催を自粛するように通達があったために、食品をお渡しするフードパントリーや個別宅配弁当に移行しました。第2760地区に各クラブに情報を一斉配信するシステムDCS(District Connecting System) ができたので、今年3月にそれを使って全クラブに食料支援のお願いをしたところ、たくさんのご支援をいただきました。

ロータリークラブとしての支援ですが、まずは資金・食料品の支援です。それからロータリークラブやロータリアンからいただいた食料品を集めて配る、フードバンクのような活動ができればと考えています。またキャリアデザイン、ロータリークラブには色々な職種の人たちが集まっていますので、子ども達に色々な仕事があること、色々な人と会う機会を与えたいと考えています。

現在の目標は「1小学校区に1子ども食堂」を作ることです。それから学習支援のための基金を作ることです。あと少しお金があれば、その子の人生が大きく変わると言った岐路はたくさんあるので、そのときに役立てられたらと思います。

緒方貞子さんの言葉に「熱い心と冷たい頭を持て」というのがありますが、1人でも多くの子どもが貧困から脱却できるよう奉仕活動を続けていきたいと思っています。

第二部 拡大理事会

1 当法人の理念について

活動を広げていく上で第三者に説明しやすい、定款の目的に則した内容にする。
また、アクションプランも併せて考える。

2 会計報告

(1) 上半期会計報告

10月16日理事会で確認済みのものを、会員に向けて報告。

(2) 今年度の年会費について

活動を始めたら請求する。年会費納入のお願い書面を高橋理事が作成する。

年会費は一律とし、寄附金と呼びかける。

3 今年度の当法人の活動について

(1) 5施設に各20万円の助成金を交付する件

申請書・交付基準の文言について、「補助金」ではなく「助成金」とし、統一する。
第2580地区・第2750地区には募集案内をメールで一斉送信する。
年内に完了させる。

【候補先視察報告】

①フードバンク TAMA（橋本理事・遠藤理事）

10月26日訪問済み。後日、報告書提出する（11月5日受領済み）。

②気まぐれ八百屋だんだん子ども食堂（富倉副理事長・吉田副理事長）

近々訪問し、報告書を提出する。

(2) アンケートを土台とした情報共有の場所を作る

発表の場を作りたいが、新型コロナの状況を見ながら考えていきたい。

(3) 経済的に困っている学生を支援する

(4) 人を育てる

(3)及び(4)については、単年ではなく数年にわたり継続して行う必要があるため、当法人の財政状況を見ながら実行できるか検討する。また、(4)については、公文の導入について近日中に聖フランシスコ子ども寮に行き確認する。

次回勉強会・拡大理事会

11月27日（金）午後6時～ Zoom

次回も第一部に勉強会（講演など）、第二部は拡大理事会を行う予定

以上

名古屋名東ロータリークラブ 地域社会共同隊(RCC)について

【活動内容】

- 2017 年 8 月 3 日に、「地域社会共同隊」(通称RCC)(※)を結成し、隊員である「子ども食堂」運営者と共に、“子どもの貧困・教育格差問題”に取り組む奉仕活動に取り組んでいます。
- 2020 年 3 月からは、新型コロナウイルスの感染拡大により、RCCの活動も大きく変化致しました。子ども食堂は、“食事の提供・居場所作り”のみならず、“食品のお渡し”という大きな役割を担うようになりました。
また、学習支援などを併設している子ども食堂も多く、それらの隊員の元には、多く SOS 情報が寄せられています。そこで、更に広く奉仕活動を展開するために、現在は、子ども食堂のみならず、「学習支援」「ひとり親支援」「生活支援」などの運営者にも隊員登録をして頂き、地域社会のニーズに対応しております。
- 2020 年 10 月現在、隊員は 150 名です。
Google グループメール・LINE ビジネスアカウントの情報発信ツールを利用し、支援食品情報や、行政連絡・全国子ども食堂情報などの一斉配信を行っております。
- ロータリークラブ・ロータリアンからのご支援品を隊員(子ども食堂・学習支援運営者)に配布し、隊員を通して、個別お渡しやフードパントリーなどで、食にお困りの方々に、お届けしております。
- パスト会長の経営企業 ハジメ産業株式会社稲沢工場に、支援品集積配布拠点を設けております。
「ご支援品拝受⇒RCC 隊員へ情報一斉配信⇒希望数応募受付⇒調整⇒お渡し(配送)」の手順で、公平性を保ちながら、支援品の配布を行っております。

(※)ロータリー地域社会共同隊(Rotary Community Corps=通称 RCC)とは、ロータリークラブの提唱により結成される、国際ロータリー認証奉仕プログラムであり、現在、世界 100 カ国に、10,000 を超える RCC がごぞいます。
RCC は、ロータリーの価値観を共有し、奉仕活動に尽力するロータリアン以外の隊員により構成されます。地域に居住している隊員が、その地域のニーズに応えるための奉仕プロジェクトを行います。

◆名古屋名東RC会員企業に、「支援品集約配布拠点」を設けております。



◆地区内ロータリークラブ・ロータリアンからのご支援品の数々。



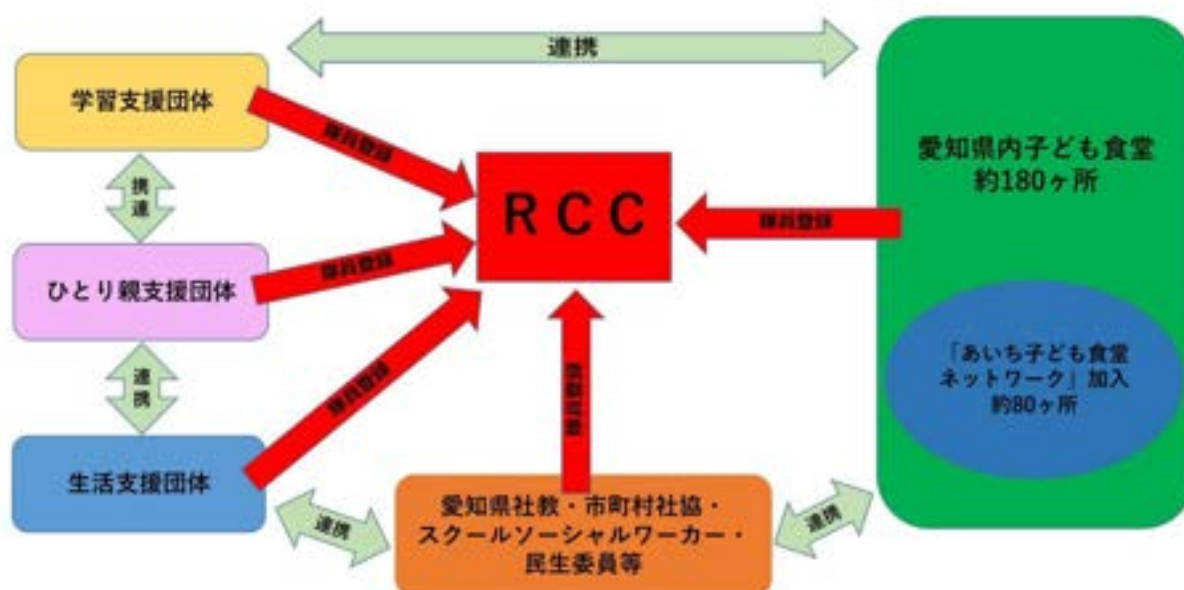
◆中国台湾料理「味仙本店」様から、毎月 鶏肉30kgのご寄付を頂いております。



◆RCC隊員（子ども食堂などの運営者）の皆さん。



名古屋名東ロータリークラブRCC（地域社会共同隊）概念図



	区社会福祉協議会	RCC 会員登録団体	市社会福祉協議会	備考
対象者※市内在住者	<p>緊急的かつ一時的に食糧を提供することが必要な生活困窮世帯</p> <ul style="list-style-type: none">・食の確保が困難な子どものいる世帯・ひとり親家庭・失業など経済的理由で十分な食事等がとれない状況の方・所持金が少なく、食糧の入手が困難な状況の方	<p>名古屋名東ロータリークラブ地域社会共同隊（RCC）の会員登録をしている団体</p> <ul style="list-style-type: none">・子ども食堂・学習支援団体・ひとり親支援団体など <p>参考） line 登録 91 名 メール登録 80 名 (8/11 時点)</p>	<p>拠点があり、月 1 回以上子どもの居場所事業を行う助成団体</p> <ul style="list-style-type: none">・地域の子ども応援事業中高生の居場所づくり事業助成団体(4 団体)	<p>区社協や子ども食堂、学習支援を行う団体が一体となって、生活困窮世帯への食糧支援を行うもの。</p> <p>【区社協】継続的に生活困窮が見込まれる方についてはセカンドハーベストの利用や生活保護への相談を検討</p>
依頼方法と食品送付の流れ	<div><div>名古屋名東ロータリークラブ</div><div><div>子がいる世帯については、区内の子ども食堂等のちらしを配布</div><div>食品</div><div>連携</div><div>食品</div><div>連携</div><div>食品</div><div>区社協</div><div>子ども食堂 学習支援団体</div><div>居場所事業団体</div><div>貸付相談等において対象者がいた場合</div><div>子ども食堂や学習支援等の活動の中で</div><div>参加者等の中に対象者がいた場合</div><div>お渡し</div><div>お渡し</div><div>お渡し</div><div>実績報告書</div><div>実績報告書</div><div>実績報告書</div><div>ファクス</div><div>ファクス</div><div>ファクス</div><div>名古屋名東ロータリークラブ</div><div>①日付②対象者 ③お渡しした食品</div></div></div>			<p>【子ども食堂・学習支援】RCC より周知し、希望があった団体に配達</p> <p>【市社教・区社教と連携し、食品をお渡し】</p> <p>【実績報告書】名古屋名東ロータリークラブにファックスにて提出 ※個人情報に係わる事項は、報告の必要は無し。</p>